

令和7年度 江戸川区立上一色中学校 学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	— 自ら学ぶ生徒 — 心身を鍛える生徒 — 社会をつくる生徒		目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	・保護者、地域と連携し、信頼され豊かな教育活動を展開する学校 ・自律し、国家・社会の一員としての自覚と貢献する気持ちをもった生徒 ・熱意をもって職務に専念し、確実な学力に向け豊かな教育活動を展開する教師
前年度までの本校の現状	成果	①学力向上に向け、計画的な校内研修を実践し、ICT機器の効果的な活用や授業観察・研究を行い、対話的な授業への取組が増加した。 ②「心の教育」に重点を置いた道徳教育・授業を意識し、議論・対話する特別な教科道徳の授業、いじめ防止や人権教育に基づいた指導が定着してきた。 ③学校行事・部活動では「文武(部)両道」のもと、生徒の主体性を尊重し、自己肯定感・効力感・有用感を育む教育活動を実践した。	課題	①学力調査の分析結果等からC・D層の理解度の生徒の割合が多い。基礎・基本の定着、学力向上に向けて、校内研修やOJTの取組を工夫し、その充実を目指す。 ②特別支援教育やいじめ防止・不登校対応について、人権教育や生徒対応、道徳授業の指導力向上を目標にし、その取組の充実を目指す。 ③読書科の「よむYOMUワークシート」や英語教育のALTの活用、ICTや学校図書館の活用により、思考力・判断力・表現力の向上や探究学習の充実を目指す。

[illegible]

[illegible]

[illegible]